

<平成 25 年度>

## 環境事業部の取り組み実績

減量総務課  
穂谷川清掃工場  
東部清掃工場  
減量業務室

### ■ 基本方針 ■

環境事業部では、安全で安定的なごみの収集・処理体制を確保することを基本に、ごみの削減とごみの資源化に関する施策・事業を推進し、循環型社会をめざします。

平成 25 年度は、市民サービスの向上をめざした業務改善に取り組むとともに、市民、事業者と連携してごみの発生抑制を最優先とした 4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）施策を積極的に展開し、スマートライフの普及啓発を推進します。

### 実績

- ・収集エリアの均衡化を図るため、就業時間帯の見直しの検討を行うとともに、コース組みの課題整理を行うなど、業務改善に努めた。
- ・市民、事業者と連携して、街頭キャンペーンや生ごみ堆肥化講習会、ごみ減量講演会を実施するなど、ごみの発生抑制を最優先としたスマートライフの普及啓発を推進した。

## I 重点施策・事業

### 【焼却ごみ削減による循環型社会の形成推進】

#### ◆ごみ処理手数料の検討

事業系ごみ処理手数料については、排出者責任に基づく、適正化を図るために改定を行います。

一般家庭ごみの有料化については、広域的な視点で北河内各市と連携を図りながら、先進事例の調査や研究に取り組みます。

### 実績

- ・事業系ごみ処理手数料について、平成 25 年 6 月に条例を改正し、60 円/10kg から 90 円/10kg に改定を行った。ただし、経過措置として、同年 10 月から平成 27 年 12 月までは 75 円/10kg とした。
- ・一般家庭ごみの有料化については、職員を研修に派遣し、他自治体における先進事例の調査や研究に取り組んだ。

### ◆パートナーシップによる取り組みの展開とスマートライフの普及啓発

校区コミュニティ協議会や廃棄物減量等推進員と連携した地域でのスマートライフの普及啓発のために、再生資源集団回収の充実、生ごみ堆肥化の啓発活動強化及びノーレジ袋・マイボトル持参キャンペーンの推進を図ります。

### 実績

- ・廃棄物減量等推進員（544 名）を対象に生ごみ堆肥化講習会（段ボール堆肥）を実施した。  
（開催回数：4 回、参加者数：計 79 名）



生ごみ堆肥化講習会

- ・廃棄物減量等推進員と連携してスマートライフの普及啓発活動を実施した。  
（実施回数：2 回）
- ・再生資源集団回収登録団体は 1 団体増加した。（計 601 団体）

### ◆ひらかた夢工房における活動の推進

ひらかた夢工房での市民ボランティアによる活動を支援しながら、ごみ減量やリサイクルに関する情報を積極的に発信し、市民によるリサイクルシステムの確立を進めます。

#### 実績

- ・ひらかた夢工房来場者数：1,304名
- ・ごみ減量やリサイクルに関するイベント（講習会・教室・発表会）を開催した。（開催回数：26回、420名）
- ・ひらかた夢工房に係るチラシを作成し、市民にごみ減量やリサイクルに関する情報発信を行った。

### 【安全で安定的なごみの収集・処理体制の確保】

#### ◆粗大ごみ破碎処理施設の円滑な稼働

東部清掃工場に設置した新・粗大ごみ破碎処理施設を安全で安定的に運営し、鉄やアルミなどの資源物を回収することにより、ごみの減量と資源の再生利用を進めます。

#### 実績

- ・粗大ごみ破碎処理施設を安全で安定的に運営し、鉄やアルミを資源物として641トン回収した。（売却額：463万円/年）



粗大ごみ破碎処理施設

#### ◆第3プラント老朽化対策計画の策定

平成24年度に実施した第3プラント現況調査報告に基づき、客観的・専門的視点を取り入れた、老朽化対策計画を策定します。

#### 実績

- ・老朽化対策工事計画（平成26～28年度に実施予定）を策定した。
- ・平成25年10月に先進都市視察（堺市・姫路市）を実施した。

#### ◆施設整備基本構想の策定

ごみ処理施設の現状を踏まえ、将来のごみ処理施設の整備に向けて、ごみ処理量の将来予測、必要な処理体制及び処理方法を検討します。

#### 実績

- ・ごみ処理施設整備基本構想について、平成25年9月に廃棄物減量等推進審議会に諮問し、検討を進めた。

### 【業務改善による市民サービスの向上】

就業時間帯の見直しを行い、ごみ収集に係る午前と午後の収集エリアの均衡化を図ります。

#### 実績

- ・収集エリアの均衡化を図るため、就業時間帯の見直しの検討を行うとともに、平成27年度からの実施に向けてコース組みなどの課題整理を行い、業務改善に努めた。

## II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	地域の美化活動をボランティアで行っているアダプトプログラムのさらなる推進を図るための支援策を充実する。

#### 実績

- ・アダプトプログラム意見交換会において、団体相互の情報交換を行った。（アダプト団体：5団体増加、計53団体）
- ・地域清掃実施登録について、各支所等でも受付を開始し、支援策の充実を図った。

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	セーフティネットの考え方を踏まえた上で、配置基準の見直しを行う。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティネットの考え方を踏まえた上で、技能労務職のあり方について、取りまとめに向けた検討を進めた。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
ごみ減量化啓発事業	焼却ごみ半減に向け、公共施設・街頭においてアンケート等を実施する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の各駅、店舗前等でスマートライフキャンペーンやアンケートを実施した。 啓発回数：36回 啓発人数：11,150名</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
45. ごみ処理手数料の見直し	事業系ごみ処理手数料の改定を行う。一般家庭ごみの有料化については、先進事例の調査や研究に取り組む。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ処理手数料について、平成25年6月に条例を改正し、60円/10kgから90円/10kgに改定を行った。ただし、経過措置として、同年10月から平成27年12月までは75円/10kgとした。</li> <li>・一般家庭ごみの有料化については、職員を研修に派遣し、他自治体における先進事例の調査や研究に取り組んだ。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
ごみ減量化対策事業	地域の廃棄物減量等推進員と連携し、広く市民に分別情報を提供する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進員と連携し、店舗前でのチラシとマイバック配布によるごみ減量啓発活動を行った。 (啓発回数：2回)</li> <li>・廃棄物減量等推進員を対象にごみ減量に関する情報紙(スマートライフ新聞)の発行(3回)や生ごみ堆肥化講習会(4回)などを開催し、地元地域の市民に廃棄物減量等推進員を通じた情報提供に努めた。</li> </ul>	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
事業系ごみ減量指導事業	多量排出事業所以外の事業所にも、ごみ減量等の周知啓発を行う。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ処理手数料の改定のパンフレットにごみの適正排出などの内容を盛り込み、市内事業者へ送付し、周知を図った。 (送付件数：3,365件)</li> </ul>	


<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
行政財産(ごみ集積場)の適正管理	所管するすべてのごみ集積場の利活用状況を把握し、払い下げ等を含めた有効活用を検討する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所管するすべてのごみ集積場の状況を把握し、そのうち、1件のごみ集積場の払い下げを行い、有効活用を図った。 (払い下げ額：5万1000円)</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
新たな財源の確保	買替購入するごみ収集車の車体に有料のラッピング広告を掲載する（3.5トン塵芥車2台を予定）。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ収集車の車体へのラッピング広告について、事業所への訪問を行うなど、募集活動を行った。</li> <li>平成26年度にごみ収集車（2台）の車体に有料のラッピング広告を掲載する。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
焼却炉への搬入不適物の排除	焼却施設の機器を損傷等するおそれのある搬入不適物（缶やびん、金属類など）の搬入を未然に防ぎ、適正なごみ処理を行うことを目的にごみ搬入検査を実施する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年3月に適正なごみ処理を行うことを目的にごみ搬入検査を実施した。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
市民サービスの向上	就業時間帯を見直し、午前と午後の収集エリアの均衡化を図ることで、市民サービスの充実を図る。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収集エリアの均衡化を図るため、就業時間帯の見直しの検討を行うとともに、平成27年度からの実施に向けてコース組みなどの課題整理を行い、業務改善に努めた。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
防火・防災及び安全な作業環境の構築	防火・防災訓練及び施設安全パトロールを実施し、場内の安全措置を講じる。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各清掃工場で防火・防災訓練や施設安全パトロールを実施するとともに、総合消防訓練を実施した。</li> </ul>	
	
<p>防火・防災訓練の様子</p>	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	交通安全講習会を開催するとともに、車両にバックモニター等を搭載することで、公用車の事故防止対策を徹底する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KYT（危険予知訓練）研修を開催するとともに、新たに購入した公用車にバックモニター（2台）及びドライブレコーダー（4台）を搭載し、事故防止に努めた。</li> </ul>	

### III 予算編成・執行

#### 【経費の削減】

- ◆溶融スラグを舗装の原材料などに活用することにより、焼却灰等の最終処分（大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立処分）に係る経費を削減します。

#### 実績

- ・公共工事等への利用普及をめざすため「枚方市溶融スラグの利用促進等に関する方針」等を策定した。

- ◆溶融飛灰の処分について、薬品代及び処分費の削減を図るために、埋立処分から、薬品を使用せず資源（重金属）を取り出す山元還元による処分に変更することを検討します。

#### 実績

- ・平成 26 年 4 月から山元還元による処分に変更するため、灰固化物搬送・処分委託契約及び固化物ピット等改善工事を実施した。

#### 【財源の確保】

- ◆ごみ焼却による熱を利用して発電した余剰電力を、電気事業者に対し固定買取制度を利用して売電します。

#### 実績

- ・平成 24 年度電力供給収入額  
1 億 3800 万円
- ・平成 25 年度電力供給収入額  
2 億 1100 万円

- ◆粗大ごみ破碎処理施設から選別回収される鉄やアルミなどの資源物を売り払います。

#### 実績

- ・鉄やアルミを資源として回収（641 トン）し、売却を行った。  
（売却額：463 万円/年）

- ◆ごみ収集車の車体に有料ラッピング広告を掲載することで、新たな財源確保を行います。

#### 実績

- ・ごみ収集車の車体へのラッピング広告について、事業所への訪問を行うなど、募集活動を行った。
- ・平成 26 年度にごみ収集車（2 台）の車体に有料のラッピング広告を掲載する。



ごみ収集車のラッピング募集広告

#### 【財源の活用】

- ◆適正なごみ処理を行って資源を循環させることで生じた財源を積み立てているスマートライフ推進基金を活用して、スマートライフの普及啓発事業を実施します。

#### 実績

- ・スマートライフ推進基金を活用した事業の検討を行った。
- ・平成 26 年度にスマートライフ推進基金を活用し、生ごみ水切りモニター事業を実施する。

#### ●その他の実績

#### 実績

- ・平成 26 年 1 月に寄付金付き自動販売機をひらかた夢工房に設置した。



寄付金付き自動販売機

- ・ホイールローダの売却を行った。  
（売却額：46 万円）
- ・事業系ごみ処理手数料を 60 円/10kg から 90 円/10kg に改定を行った。ただし、経過措置として、平成 27 年 12 月までは 75 円/10kg とした。  
（手数料収入の増加額：約 2300 万円/年）

#### IV 組織運営・人材育成

- ◆安全で安定的なごみの収集・処理体制を確保するために、職員の技術的な知識や現場での業務経験の蓄積及び継承に必要な「先進都市の事例研究」や「廃棄物に関わる知識の習得」などの研修や他施設の見学を通じて、職員の技能向上・人材育成を図ります。

## 実績

- ・ごみ中継施設の設置・運営や清掃工場の美化・情報発信などに関する事例研究を行うため、先進都市（東京都、横浜市等）の視察を行った。
- ・建築リニューアル研修やエコスラグ利用普及委員会自治体連絡会、コアパーソン育成派遣研修などに参加し、知識の習得に努めた。
- ・部内各課の職員から構成するカイゼンプロジェクトを立ち上げ、部内の課題等に対して解決策等の提案を行った。

◆部の運営方針に基づく組織目標である、市民サービスの向上をめざした業務改善及び4R施策の積極的な展開によるスマートライフの普及啓発について、その達成に向けた取り組みの共有化を行います。併せて組織の総合力を最大化するため、適材適所の職員配置と確実な進行管理を行います。

## 実績

- ・地域ごとの分別排出ルールの徹底と4R施策の積極的な展開によるスマートライフの普及啓発について、部内で共有化を図りながら、職員の役割を明確にした上で、取り組みを行った。

## V 広報・情報発信

◆さまざまな啓発活動や情報伝達媒体などを駆使したごみ減量やリサイクルに関する広報・情報発信の充実を図ります。

◇平成25年4月にオープンした「ひらかた夢工房」における市民ボランティア活動を通じた情報発信

## 実績

- ・ひらかた夢工房において、活動グループが開催するイベント・教室・講習会などで、市民にリデュース・リサイクル等の情報発信を行うとともに、広報ひらかたや市ホームページ、ケーブルテレビ、FMひらかたなどを活用して市民への情報発信を行った。

◇街頭キャンペーンや地域学習会などの実施

## 実績

- ・市内の各駅・店舗前等でスマートライフキャンペーンやアンケートを実施した。  
啓発回数：36回  
啓発人数：11,150名

◇ごみ減量フェア・ごみ減量講演会の開催や清掃工場等の施設見学の実施

## 実績

- ・平成25年11月にごみ減量フェアを開催し、合わせてひらかた夢工房、穂谷川清掃工場の施設見学を行った。（来場者数：約3,200名）



ごみ減量フェア

- ・平成26年2月にごみ減量講演会を開催した。（参加者：103名）
- ・穂谷川清掃工場や東部清掃工場施設見学を実施した。（見学者数：穂谷川清掃工場326名、東部清掃工場4,432名）

◇市ホームページ・広報ひらかた・CATV・FMやパンフレット・説明会等の広報活動に加え、ツイッターなどの新たな情報伝達媒体の活用

## 実績

- ・部内に情報発信関係会議を設置し、部内で情報共有を図りながら、広報ひらかたや市ホームページ、ケーブルテレビ、FMひらかたなどを通じて情報発信を行い、市民周知に努めた。